

平成27年度決算の概要について

平成27年度決算は、平成28年5月25日開催の評議員会・理事会において所要の手続きを経て承認されました。

以下に掲げる決算の概要は、平成27年度に実施した事業に基づき確定した計算書類のうち、事業活動収支計算書及び貸借対照表を用いて、同年度における収入支出の状況及び平成28年3月31日において保有する資産、負債及び純資産を前年度決算額と比較して説明したものです。

なお、「平成27年度計算書類」の内容は、「平成27年度事業報告書」とともに本学ホームページで公開しています。

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、年度内における教育活動収支、教育活動外収支を経常的なものとして、また特別収支を臨時的なものとして3つの活動区分に集計される事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにするものです。

なお、平成27年度より学校会計基準が改正されたことにより、前年度決算額との比較は表示しておりません。

1. 教育活動収支

教育研究機関としての本業となる教育活動収支の差額では、8億円のプラスとなりました。収入の内訳では、学生生徒等納付金、手数料、経常費補助金（特定事業を除く）寄付金及び図書の再登録を含めた雑収入ほかで合計180億9,400万円を計上し、支出の内訳では、将来における退職金支給に充てるための退職給与引当金繰入額を含めた人件費で99億7,800万円、教育研究経費及び管理経費では、建物及び備品等減価償却資産の当年度償却額を含めて、72億3,800万円、また徴収不能額等では未収入金を踏まえ、7,700万円となり支出の合計では172億9,400万円を計上しました。

2. 教育活動外収支

教育活動外収支の差額では、1億1,400万円のプラスとなりました。内訳は、受取利息・配当金の収入で2億3,000万円を、既存の借入金における借入金利息で1億1,500万円の支出によるものです。

3. 特別収支

当年度における臨時的な要因によるものとした特別収支の差額では、創立100周年記念事業への施設設備寄付金及び学内の視聴覚設備の更新事業を対象とした国の施設設備補助金を含めたその他の特別収入で6,500万円と、当年度における物品の不用決定、図書の除却等による資産処分差額の500万円の支出による結果6,000万円のプラスとなりました。

以上の 3 つの区分による収支差額を合計した基本金組入前当年度収支差額では、9 億 7,500 万円となり、3 つの事業活動収入額の合計額を分母とする基本金組入前当年度収支差額比率（当年度における経営の採算性を示す指標）は、5.3%となりました。

これに、将来における保有する資産の維持確保のための基本金組入額は、第 1 号基本金及び第 2 号基本金組入額と合わせて 16 億 5,300 万円を組み入れた結果、当年度収支差額では 6 億 7,800 万円となり、前年度繰越収支差額を加えた翌年度繰越収支差額は、222 億 3,800 万円となりました。

貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末の資産、負債、純資産の状態を表示しています。

資産の部では、固定資産で 601 億 7,300 万円となりました。内訳は、有形固定資産で土地・建物、教育研究用機器備品ほかの減価償却及び当年度の新規取得との増減により 409 億 7,900 万円、特定資産は、使徒が指定された第 2 号、第 3 号基本金及び一部の退職給与引当金に対応する運用資産の合計で 38 億 7,700 万円となりました。

その他の固定資産は、有価証券ほかで 153 億 1,500 万円となりました。

また、流動資産は、計上した 3 月 31 日から起算して 1 年以内に現金化される資産です。対前年度合計では 4 億 700 万円が減少し、108 億 5,000 万円を計上しました。

以上の結果、資産の部では、前年度に比べて 5 億 4,900 万円減額の 710 億 2,400 万円となりました。

負債の部の固定負債では、建物建設資金に充てた借入金の計画的返済及び 6 億円の繰上償還並びにリース取引による未払金の計画的返済の結果 11 億 5,600 万円が減少し、103 億 3,100 万円となりました。また、流動負債では、年度末において次年度に繰り越した取引業者への未払金及び長期借入金の内から翌年度返済予定とする短期借入金に前受金等を合わせて 54 億 2,600 万円となり、負債の部合計では、前年度に比べ 15 億 2,500 万円減少して 157 億 5,700 万円となりました。

純資産の部は、基本金では、第 1 号基本金に、施設等にかかる借入金の返済額及び機器備品等の購入額として本年度に 14 億 5,300 万円を組み入れ、第 2 号基本金には、計画的な先行組入とした創立 100 周年記念事業に向けた 2 億円を組み入れました。

第 3 号及び第 4 号基本金では、前年度同額を計上し、基本金合計では対前年度 16 億 5,300 万円増額して 775 億 500 万円となりました。

また、繰越収支差額は、事業活動収支計算書における翌年度繰越収支差額と同額で、マイナス 222 億 3,800 万円となり、基本金及び繰越収支差額を合計した純資産の部は、前年度より 9 億 7,500 万円増加して 552 億 6,600 万円となりました。

この結果、負債及び純資産の部の合計額は、前年度より 5 億 4,900 万円減少して資産の部と同額の 710 億 2,400 万円となりました。

なお、説明上の金額表示は、100 万円未満を切り捨てています。